

家畜衛生だより



令和7年度24号（鶏）令和7年11月発行

東部家畜防護協議会
(公社)千葉県畜産協会
東部家畜保健衛生所
TEL: 0479(85)8900
FAX: 0479(85)5932
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kh-toubu/index.html>

千葉県内で野生カモ類の糞便から 低病原性鳥インフルエンザウイルス (H5亜型)が検出されました。

高病原性鳥インフルエンザ発生予防のため、県内で実施している野生カモ類の糞便のサーベイランス検査において、採取した糞便1検体から、低病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)が検出されました。今シーズンは既に国内各地の農場や野鳥から鳥インフルエンザウイルスが確認されています。引き続き厳重警戒をお願いします！

現在国内のHPAI発生家畜農場は4例ですが、1例目から3例目までについて、国の疫学調査チームの現地調査概要が公表されています。また、国内の野鳥での発生状況も公表されています。

【現地調査概要や野鳥での発生状況は、以下からご覧いただけます】

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/r7_hpai_kokunai.html#HPAI_epi_team

飼養衛生管理基準を遵守し、ウイルス侵入防止対策の見直しをお願いします！

千葉県東部家畜保健衛生所 TEL 0479-85-8900 FAX 0479-85-5932

※急性悪性家畜伝染病（豚熱等）の早期対応のため、疑わしい症状があれば速やかに連絡してください。

※夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください。

正しく消毒できていますか？ ～消石灰～

消石灰は家きん舎周囲及び農場外縁部に散布しましょう。

【散布量目安】

- ・日常
→床面が白くなるように
十分に散布
- ・伝染病発生時
→1m²あたり1kgを目安に
均一に散布



【効果】

- ・水を加えると強アルカリになり、病原体が死滅する。
- ・屋外の土壤上など、周りに水分がある環境下では待ち受け消毒として効果が出る。 ※1、2
- ・野生動物の忌避効果がある。 ※3

※1 乾燥したコンクリート上への散布時は消石灰1袋(20kg)に3~4Lの水を散布すると効果的です。

※2 消毒したい対象に含まれる水分量で作用時間が変化します。

※3 長期間は作用しないため、侵入防止の柵や、防鳥ネットの設置等別途野生動物対策を適切に行う必要があります。

【注意】

- ・粉の状態では強アルカリではないため、瞬時に病原体を殺滅できない。

石灰帯を車や長靴で通過することにより消毒効果を得る為には、
あらかじめ消毒槽や水でタイヤや長靴を濡らし

消石灰と水を接触させましょう！

- ・雨で濡れたり、野外散布後、長期間放置すると炭酸カルシウムに変化し、殺菌効果が減弱する。

野生動物侵入対策の徹底をお願いします！

- ・野生動物を誘引するような環境が農場内にある場合は、早急に対策を！
餌こぼれ 実のなる樹木 水場 廃棄卵の放置 など
- ・野生動物が家きん舎に入れない環境づくりの徹底を！
防鳥ネットの設置
バーコンシャッター、除糞ベルトの蓋などの隙間対策

第67回千葉県家畜保健衛生業績発表会 ～ 特別講演 ～

ワクモ防除に関する最新情報

令和7年12月19日 (金)
14:30~16:00

会場

千葉県文化会館 小ホール

(〒260-8661 千葉県千葉市中央区市場町11番2号)

講演会内容

ワクモの防除は養鶏産業界にとって大きな課題である。

現在市販されている大半の殺ダニ剤は国内のワクモに対して抵抗性を示し、駆除に苦慮しているのが現状である。

本年3月に市販化された新薬は、前記のワクモに対しても100%の致死効果、さらにワクモでは世界で初めて連鎖駆除効果を示すことが判明した。

本講演では新薬を中心にワクモの防除効果について、実験室内、野外における成績を紹介する。

講師紹介

村野多可子 氏

全農家畜衛生研究所
獣医学博士

日本大学農獣医学部獣医学科卒
日本獣医畜産大学で獣医学博士取得
千葉県職員として主に鶏の試験研究に従事
現在全農家畜衛生研究所と委託契約
国内全域の養鶏場を対象にワクモの調査
研究並びに指導を実施



参加費

無料

参加者人数把握のため、
右のQRコードから、参加申込を
お願いします。
申込無しでも参加は可能です。



参加申込フォーム

お問合せ

主催 千葉県農林水産部畜産課家畜衛生対策室
電話 043-223-2938
FAX 043-222-3098
メール chikueisei@mz.pref.chiba.lg.jp

電子指示書システム運用開始のお知らせ

2025年4月から、獣医師が発行した指示書を電子で受け取ることができる電子指示書システムの運用が始まりました。

農場ごとの医薬品処方量を可視化^(※1)することで薬剤耐性菌をはじめとする疾病対策にも有用です。是非ご利用ください。

※1 指示書により処方・投薬された医薬品に限る

利用料無料^{※2}

※2 通信料は個人負担となります



ご不明点は、[飼養衛生ポータル](#)コールセンターまでお問い合わせください。

電話: 050-3501-7060

受付時間: 平日09時30分~17時30分(土日祝日及び年末年始を除く)

担当: 農林水産省 消費・安全局 畜水産安全管理課
薬剤耐性対策班 03-3502-8097

電子指示書システムの利用申請
をお考えの方は[こちら](#)→

農林水産省HP
(<https://www.maff.go.jp/j/syounan/tikusui/yakuze/vmed-record.html>)

